

【現場の改善提案を生む「質問力」セミナー】

「あなたは今、仕事を進める上で何か悩みはありますか？もしある場合、どのような悩みですか？」

今、あなたは突然の質問にも関わらず、何か自分には仕事上の悩みがないか、思わず考えてしまったのではないのでしょうか？ そう、質問には、「強制的に相手の思考開始のスイッチを押す」力があるのです。

よって、質問を上手く活用することで、相手の思考をうまく動かすことができるだけでなく、アイデア発想や議論活性化の一助とすることも可能となるのです。一方、「強制的に相手の思考開始のスイッチを押す」ことから、使い方を誤ると逆効果になる懸念もあります。

本セミナーでは、質問が持つ力を理解し、相手の思考をうまく動かす「質問力」を身に付けることができます。

また、グループでの演習を通し、「質問力」の向上を体感いただきます。本セミナーの活用を通して、「質問力」をうまく活用した職場コミュニケーション活性化を掴んでみませんか？

カリキュラム

1. なぜ「質問力」で「職場コミュニケーション活性化」なのか？
2. 「質問」が持つ強い力を知る
3. 3つの「きく」とは？
4. コミュニケーションを円滑にする「傾聴力」
5. 演習 ～「傾聴力」
6. 良い質問と良くない質問の違いを知る
7. コミュニケーションを深める「質問力」
8. 演習 ～「質問力」
9. 総合演習
10. まとめ —職場での活用方法



開催日時	2024年 7月 9日 (火)
	開始 9:30～ 終了 16:30 (内休憩 11:50～12:50)
講師	中小企業診断士 北田 健太 氏
受講料	18,000円 (テキスト代・昼食代・消費税込)
対象者	職場コミュニケーション活性化を推進する役割を担う方、コミュニケーションに苦手意識のある方
会場	(株)久喜菖蒲工業団地管理センター 研修室
申込期限	開催日の1週間前までにお申し込みください。(定員：20名)

参加者の感想

- ・非常にわかりやすく、興味深く受けることができました。ありがとうございました。
- ・明日以降、目標を達成できるように、今回の講習を役に立て職場で実行してみようと思います。
- ・傾聴力のみの内容かと思っていましたが、部下との接し方に応用できるコミュニケーションスキルが学べて良かった。
- ・日常の様々な場面において使える能力であり、興味深く学ぶことができました。今後に役立てたいです。

受講申込書 FAX : 0480-23-5300 E-mail : hasegawa@kukishobu-ipwc.co.jp

会社名	担当者		
住所	TEL		
E-mail	※請求書・受講のご案内を メール受領について <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可		
氏名	フリガナ	部署・役職名	備考
問い合わせ 申込み先	株式会社久喜菖蒲工業団地管理センター 担当 長谷川 TEL:0480-22-8911 FAX:0480-23-5300 Email:hasegawa@kukishobu-ipwc.co.jp		